



議会基本条例制定10年 市民に開かれた議会へ

鹿沼市議会基本条例

(議会の活動)

第2条 議会は、次に掲げる原則に基づき活動しなければならない。

- (1) 公平性、公正性及び透明性を確保するとともに、市民に開かれた議会を目指すこと。
- (2) 市民の意見を把握し、政策形成に生かせるよう、市民参加の機会を確保すること。
- (3) 市民の意見を基に調査し、及び研究し、政策提言、政策立案等に努めること。
- (4) 市民主権の立場から市政運営が適正に行われているかを監視し、及び評価すること。
- (5) 説明責任を果たすため、市民に分かりやすい方法で議会の会議の原則公開及び情報の提供を行うこと。

鹿沼市議会基本条例が制定されて一〇年が経過しました。私が市議会議員に初当選したのが、二〇一一年の九月ですが、その前月の八月に議会基本条例が制定されています。当時、議会基本条例を普段の議会活動の中にどう落とし込んでいくのか、熱心に議論した記憶があります。その一つとして、「議会報告会・意見交換会」を開催することになりましたが、いかんせん初めてのことであり、何を報告すべきか、意見に対してはどう対応すべきかなど逐一議論をし、取り扱いを決めていきました。そうした議論を通じ

て、下記のような「政策サイクル」を意識し、その起点に「議会報告会・意見交換会」を位置づけようということになりました。一〇年を経過した現在、議員の入れ替わりもあり、少し制定当時の思いが薄れてきているように感じます。

議会基本条例に詳しい、大正大学の江藤俊昭教授は「議会基本条例制定の最も大きな意義は、『新たな議会像』①閉鎖的な議会から住民に開かれた住民と歩む議会、②質問・質疑だけの場から議員間討議を重視する議会、③それらを踏まえながら追認機関ではな

●「政策サイクル」のイメージ

く首長等と政策競争をする議会、という3つの原則を宣言したことである」と述べています。

「議会報告会・意見交換会」など市民の中への活動は充実してきましたが、議員間討議、政策提言等は道半ばです。条例制定当時の議論に立ち返り、議会の改革を進め、それによって住民の福祉の向上につながるよう今後とも努力してまいります。

議会報告会・意見交換会

市民意見を踏まえた調査研究、政策討論（議会）

- ・市政の監視機能の強化
- ・市当局への政策提言
- ・議員提案による条例作り
- ・各党派での政策作り

一連の経過を市民に報告（議会報告会・意見交換会）

大貫タケシ 一〇年の歩み

二〇一一年（平成二十三年）九月に市議会議員に当選させて頂いてから、この九月で議員活動一〇年を迎えることになりました。これも一重にこれまでお支え頂いた皆様のお陰であり心より感謝を申し上げます。

「光陰矢の如し」といいますが、も

う一〇年も経ってしまったかというのが正直な印象です。これまで不十分ながらも取り組んできたこと振り返り、今後の活動に生かしていきたいと思えます。手前勝手な思いであります。どうかお付き合いいただければ幸いです。

開かれた議会、行動する議会を目指して活動しています。

私が議員となった前年に、先輩議員のご努力により、鹿沼市議会基本条例が制定されました。議会基本条例の精神を活かしていくということで、市民対象の「議会報告会・意見交換会」が開催されることになりました。



議会質問には一回も休まず登壇してきます。

地域の課題もしっかりと取り組んでいきます。

お陰様で、一〇年間休まず議会質問することができました。質問回数は四〇回、一五四件になりました。質問すれば良いというわけではないですが、質問する



からには、説得力のある事実の裏付けや論理が必要です。苦労もありますが、その分、大変勉強させていただきました。お答えは、答弁いただく執行部の皆さんにはご苦勞をかけていますが、執行部と市民の皆さんとの仲立ちをするのが元市役所職員であった私の役割と考えていますのでご理解ください。

「量から質への転化」が弁証法の法則ですが、まだまだ質の向上には至っておりませんので、今後も努力を続けてまいります。皆さんの叱咤激励をお願いします。



通学路の整備、道路の拡幅、舗装、除草、街路樹の剪定など沢山のご要望を頂きます。その都度、市の担当部署などに繋ぐなど対応させていただきます。しかし、財源

にも限りがありますから、心苦しい限りですが、対応できないものも沢山あります。ご容赦ください。

例えば、坂田山のケヤキ並木については、「適切な剪本数を維持し、定期的な剪定」するの方針が決められました。また、長年の懸案であった千手町ボーリング場脇の通学路は道路の拡幅（写真上）が行われました。歩道の設置まではできませんでしたが、安全性が向上したと思います。今後もお気軽にお声掛けください。

議長を任せられました。当時、選挙権が一八歳に引き下げられたことを受け、若者に政治に関心を持ってもらうことが大切と考え、議員の皆さんの賛同を頂き、市内四つの高校の生徒さんを対象の「議会報告会・意見交換会」を開催（写真右）しました。この取り組みは現在も継続して行われています。また、総務常任委員会の委員長（二〇一九年九月から一年間）の際には、台風一九号の災害を受け、栗野地域の自治会役員の皆さんと被災の状況や災害対応の在り方などについて意見交換をさせていただきました。それをもとに執行部に提言を行いました。開かれた議会、行動する議会を目指して頑張ります。

政策提言も議員の大切な役割 これからも頑張ります。

障害のある方の支援として、障害の早期発見、乳幼児期から学齢期、就労期までトータルにサポートする体制の整備を訴えてきましたが、二〇一七年四月より、二〇二〇年四月まで「総合サポートセンター」が開設され、新たな支援システムがスタートしました。鹿沼の森林資源を活かす方策として「木育」の取り組み

を提案しました。現在、これには赤ちゃんベリーウッドプレセント事業として新生児に木のおもちゃ等のプレゼントが行われています。成年後見制度の総合的な窓口「鹿沼市成年後見センター」、障害者の総合的な窓口「基幹相談支援センター」の設置、子供の貧困の実態調査の実施も実現しました。

大芦川の川遊び客の迷惑問題 解決に向け頑張っています。



大芦川の問題は何度となく議会でも取り上げさせていただきました。その結果、「大芦川流域活用事業」「大芦川創生プロジェクト」として取り上げていただきました。川遊びにあたってのルールを、条例等によって明確にしていくことが、今後必要だと考えています。それは、関東一の清流と呼ばれる大芦川の価値をさらに高めていくことにもなるものと考えます。

毎週月曜日、マンデーレポート 議会後のタウンミーティング これからも継続していきます。

松井正一県議と共にいるマンデーレポートは今年九月末で三八〇回となりました。松井正一県議によれば目標千回ということ

です。松井正一県議によれば、まだまだ道半ばです。といいますが、計算上、千回まではあと十六年かかりますので松井正一県議より五歳年上の私にはちよつと無理かな（笑）。

タウンミーティングは、一九回行ってきました。参加された皆さんからいただいた意見は、鹿沼市への提言書として毎年市に提出を行っています。また、県議会、市議会での質問にも取り上げてさせて頂いております。コロナ禍の中ではありますが、今後も行っていきます。



一〇年間を振り返って（雑感）
一〇年間の議員活動を振り返って改めて感じたことが二つあります。一つは、人と人のつながりの大切さです。「俺は市議会議員だ」なんて偉そうなことを言ってみても一人ではできないことには限界があります。地域の皆さん、後援会の皆さん、市役所の皆さん、そして他の議員の皆さんなどの連携があつてはじめて物事が達成できるということに身染みて感じました。「人見知りの市議会議員」を自認している私としては、ことさらに人間関係の大切さを感じているところです。もう一つは、市議会議員の職責の重みです。私たちは選挙を通じて、市民の代表となるわけですが、このため私たち議員の一言は、とりわけ市役所の皆さんには市民を代表する声として重みをもって受け止められているということなんです。自分の言葉の重みを自覚し、責任ある言動を心がけなければと考えています。さらに、予算をはじめとして、市の政策を最終的に決定するのは議会であるということなんです。市庁舎の建設をはじめ重要な決定に携わってきましたが、改めて身の引き締まる思いがいたします。今後この二つのことを胸に刻み、一層精進してまいります。

鹿沼市議会議員 大貫 毅

大貫タケシ10年の歩み(番外編)



スポーツイベントやっています

スポーツ好きの皆さんと各種スポーツイベント企画しています。スポーツでの地域振興、意外とマジでやっています。古峰ヶ原高原トレイルラン(左上、山を走るスポーツです)、サイクルロゲイニング(右上、自転車イベントです)、富士山勝ち抜きヒルクライム(左下、富士山での自転車レース)、3時間耐久茂呂山トレイルリレーマラソン(右下、茂呂山を使ったトレイルラン大会)などです。手前味噌ですがそれぞれ意外と人気です。新型コロナウイルス感染症の影響で、このところ中止を余儀なくされてもいますが、これからも継続して開催していく予定です。よろしかったら参加ください。



息抜きは料理、ときどき登山

食いしん坊なので、自分が食べたいがために作っています。右上はボルシチ、サワークリームを添えると最高です。西大芦の直売所(毎月第3日曜日、旧西大芦小学校で開設)で買い求めたビーツで作りました。写真は白黒でわかりませんが、真っ赤なスープです。右下はスパニッシュオムレツです。色味は卵の黄色とパプリカの赤です。我ながら上々の出来栄です。

左は鹿沼の最高峰「夕日岳」(1526m)です。久しぶりなので、バテバテでした。



先の総選挙におきましては、応援した**福田あきお**さんが見事6回目の当選を果たすことが出来ました。大変ありがとうございました。

◎第2区計

福田あきお 73, 593
いがらし清 64, 253

○鹿沼市

福田あきお 21, 694
いがらし清 20, 279

全体としては、立憲民主党の議席を伸ばすことが出来ず、残念な結果となりました。今後、選挙総括を深め、立憲民主党の党勢拡大を図って行く決意です。

大貫タケシ・プロフィール

生年月日 1960年9月26日生(61歳)

○学歴

西大芦西小学校、西中学校、鹿沼高校を経て
宇都宮大学農学部農業経済学科卒業

○職歴

1983年4月より28年間鹿沼市役所勤務(福
2019年9月市議会議員当選(3期))



**記事に対するご意見、市政に関する
意見・要望などございましたら、遠慮なく下記までお寄せください。**

TEL・FAX 0289-63-0265
携帯 090-7736-2017
メール takeshi@one.bc9.jp